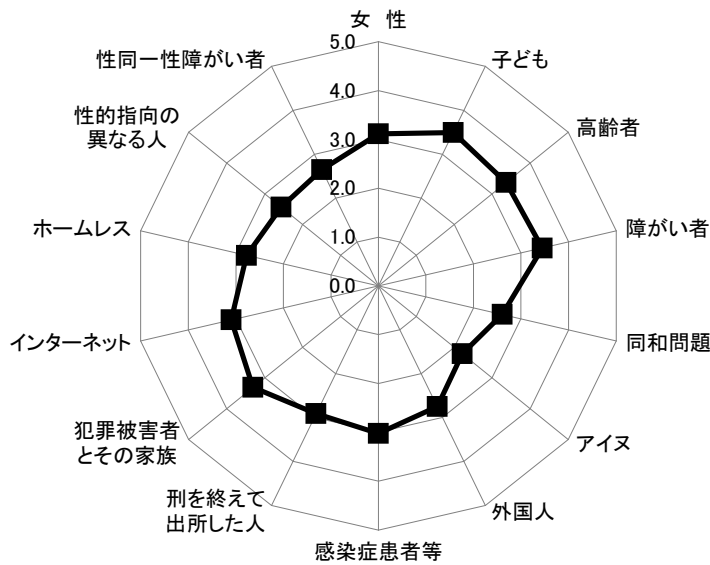


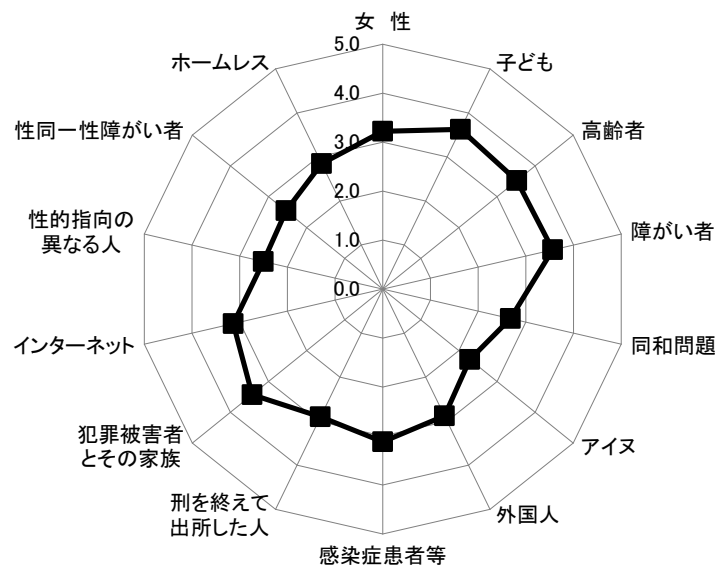
### 3-17 各人権問題に対する関心度

- 問 12、15、19、22、25、30、33、36、40、44、47、50、53、56 において、各人権問題についての関心がどの程度あるのか、「かなりある」「まあまあある」「ふつう」「あまりない」「まったくくない」の5段階で調査した。
- 調査結果について、「かなりある」を5点、「まあまあある」を4点、「ふつう」を3点、「あまりない」を2点、「まったくくない」を1点とし、回答者による平均点を算出した（これを「関心度」と呼ぶ）。



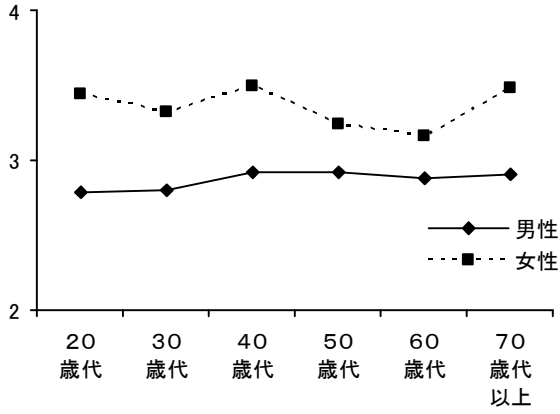
- 「子どもの人権問題」が 3.49 点で最も高く、次いで「障がい者の人権問題」が 3.44 点、「高齢者の人権問題」が 3.36 点、「犯罪被害者とその家族の人権問題」が 3.30 点、「女性の人権問題」が 3.11 点、「インターネットによる人権侵害」が 3.09 点、「感染症患者等の人権問題」が 3.02 点の順となっている。
- 一方で「アイヌの人々の人権問題」が 2.21 点で最も低く、次いで「性的指向の異なる人の人権問題」が 2.56 点、「同和問題」が 2.60 点、「性同一性障がい者の人権問題」が 2.65 点の順となっている。

参考（平成19年データ）

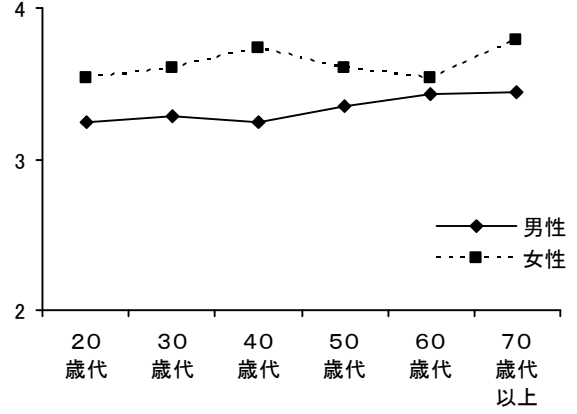


性別・年代別

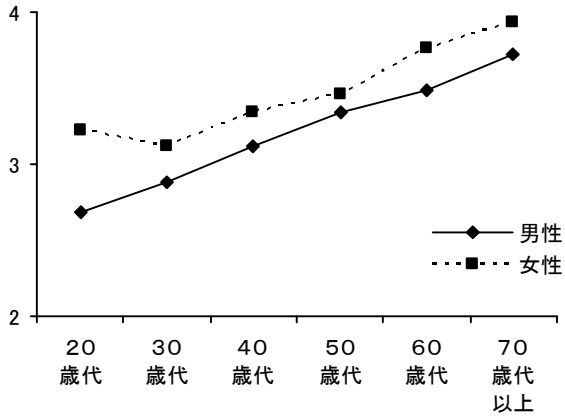
女性の権利問題



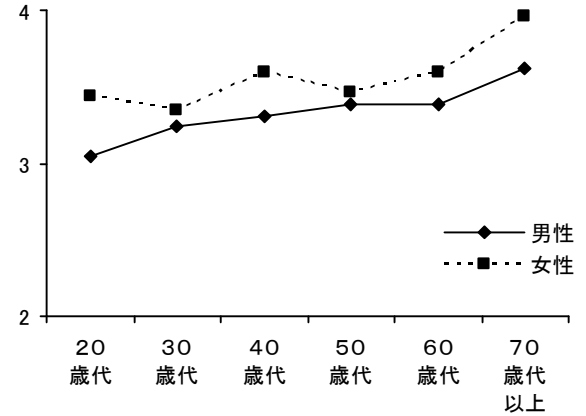
子どもの権利問題



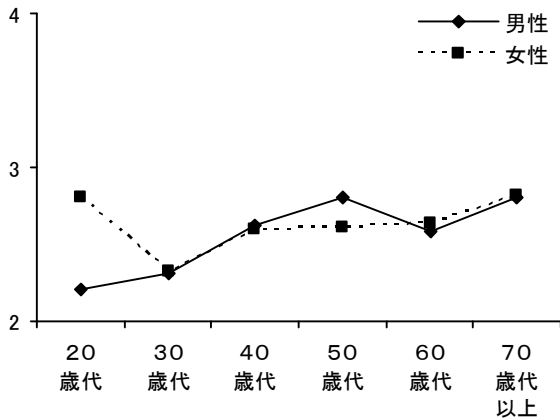
高齢者の権利問題



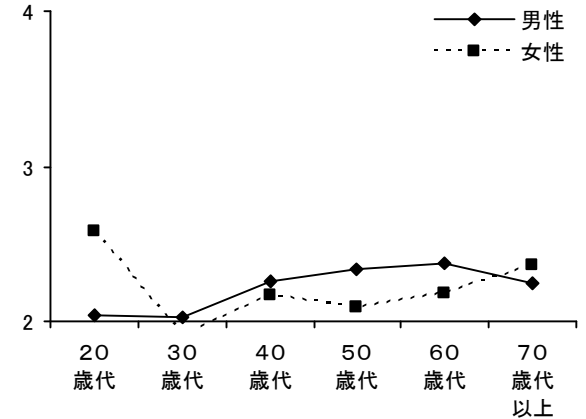
障がい者の権利問題



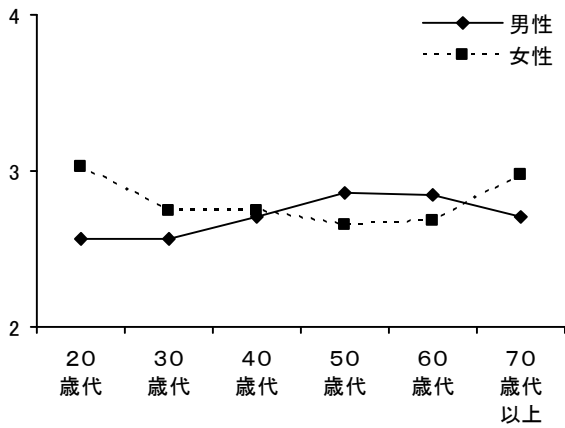
同和問題



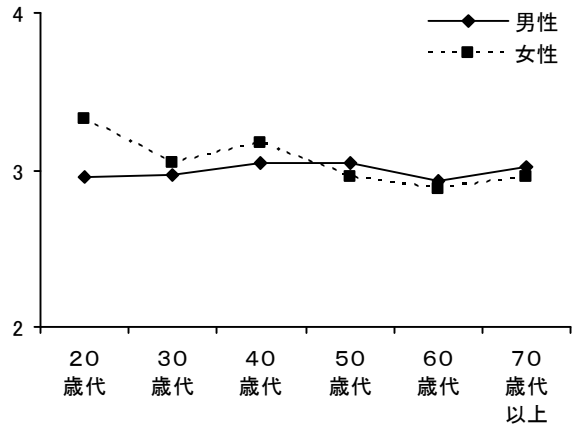
アイヌの人々の権利問題



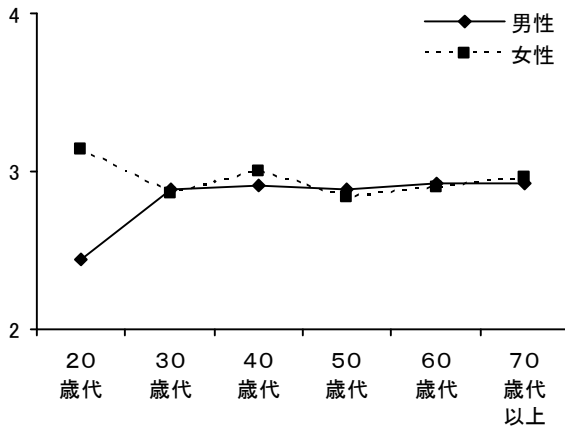
外国人の人権問題



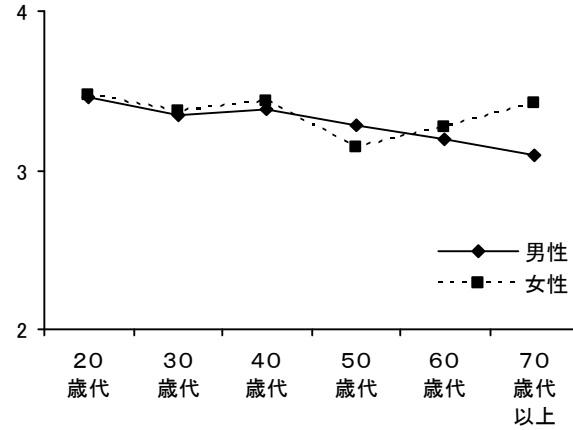
感染症患者等の人権問題



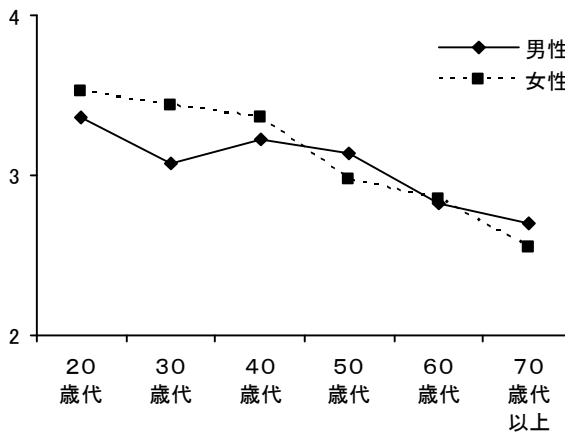
刑を終えて出所した人の人権問題



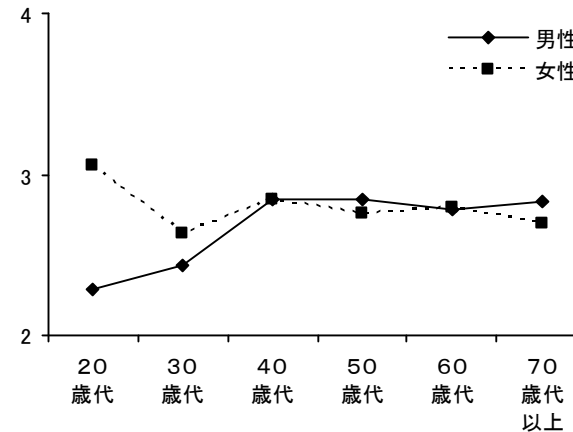
犯罪被害者とその家族の人権問題



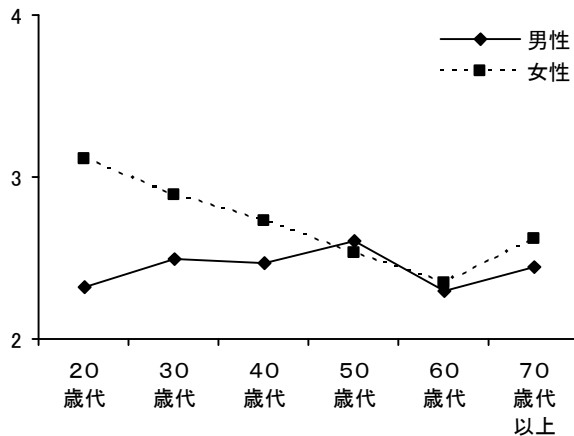
インターネットによる人権侵害



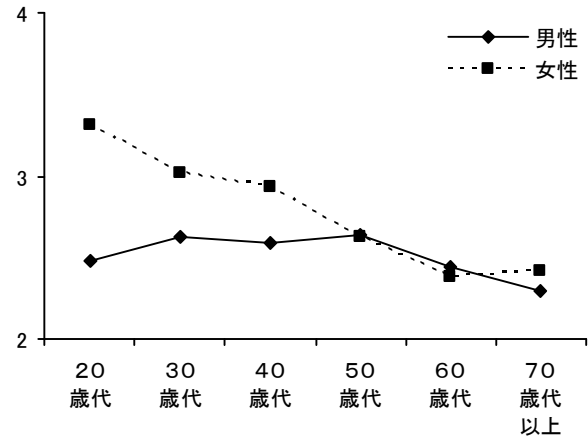
ホームレスの人権問題



性的指向の異なる人々の人権問題



性同一性障がい者の人権問題



- 女性の人権問題は、男性はほぼ横ばいで、いずれの年代も女性の関心度が高く、男性との差が大きい。
- 子どもの人権問題は、男女共にいずれの年代も関心度が高く、40 歳代で男女間の差がやや大きい。
- 高齢者の人権問題は、男女共に年代が上がるにつれて関心度が高くなる傾向がみられる。いずれの年代も女性の関心度がやや高い。
- 障がい者の人権問題は、男女共に年代が上がるにつれて関心度が高くなる傾向がみられる。いずれの年代も女性の関心度がやや高い。
- 同和問題は、20 歳代で女性の関心度が高く、男性との差が大きい。50 歳代で男性の関心度がやや高いが、それ以外の年代では男女間の差はほとんどない。
- アイヌの人々の人権問題は、20 歳代で女性の関心度が高いが、それ以外は男女共に関心度が低い。
- 外国人の人権問題は、20 歳代と 70 歳代以上で女性の関心度が高く、男性との差がやや大きい、男女共にほぼ横ばいである。
- 感染症患者等の人権問題は、男性はほぼ横ばいで、女性は若い年代ほど関心度が高くなる傾向がみられる。
- 刑を終えて出所した人々の人権問題は、20 歳代で女性の関心度が高く、男性との差が大きい。それ以外は男女共にほぼ横ばいで、差はほとんどない。
- 犯罪被害者とその家族の人権問題は、男性は年代が上がるにつれて関心度が低くなる傾向がみられる。70 歳代以上で女性の関心度が高く、男性との差がやや大きい。
- インターネットによる人権侵害は、男女共に 20 歳代の関心度が最も高く、年代が上がるにつれて関心度が低くなる傾向がみられる。
- ホームレスの人権問題は、20 歳代で女性の関心度が高く、男性との差が大きい。40～70 歳代以上の年代では男女間の差はほとんどない。
- 性的指向の異なる人々の人権問題は、男性はいずれの年代も関心度が低い。20 歳代で女性の関心度が最も高く、年代が上がるにつれて関心度が低くなる傾向がみられる。
- 性同一性障がい者の人権問題は、男性はいずれの年代も関心度が低い。20 歳代で女性の関心度が最も高く、年代が上がるにつれて関心度が低くなる傾向がみられる。